

(2) 崖から離れて、地層全体を観察する。

① 地層の出ている崖全体をスケッチする。

② 地層の重なりや、傾きに注意して地層を書き入れる。

③ この高台はこれらの地層が重なってできていることを理解する。

④ 道路に沿って褐色の砂層を目当にして地層を追いかけて、地層の広がりを観察する。

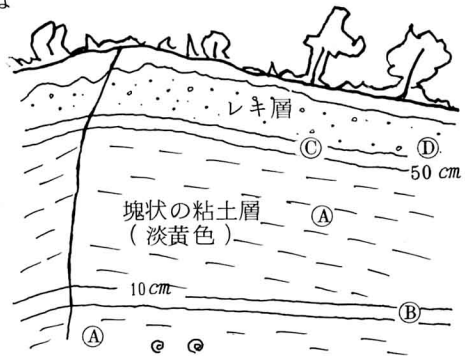
(3) 地層に近づいて観察する。

Ⓐ層は淡黄色の塊状の粘土層で、化石として3~4cm大の二枚貝を含んでいます。

Ⓑ層は10cmのうすい砂層です。

Ⓒ層は50cmの砂層で茶褐色です。

Ⓓ層は10cm大の円レキからなるレキ層で第四紀の段丘たい積物です。



## 2. 川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所

真野川鹿島橋付近

(2) 土手の上から水の流れや、州などの様子を観察する。

① はんらん原(川原)や州、水の流れている様子をスケッチする。

② 水量が少なく、川底が州となっている。州が広く見られるのが真野川の下

